

「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」

2014年5月

56号



丸坊主だった私が「つる」と呼ばれるようになって、間もなく30年。そんな「つる」があなたに「おんがえし」をします。

つるの おんがえし

株式会社 感動・創庫

〒259-1145 伊勢原市板戸 208-103

TEL: 0463-79-9777

http://kando-soko.com

発行編集責任者: 芦川永光

100パーセントのアホ達は、夏に向けてアクセル全開!! エンジョイワークもラン&スマイルで、もう一段階ギヤ上げていきまっせ!

ポスティング
集客チラシ制作



ポスティング
集客チラシ制作



伊勢原の中心で、 「新事務所カイトキ〜」 と叫ぶ!!

ゴールデンウィークが終わって、運動会翌日の休日のようなぼんやり感と、次の楽しいこと何しよっか! という嬉しい切り替わりを感じています。5月病は抜けましたか? 最近のブームは生姜料理。体温上げて夏の準備オツケイ! 感動・創庫の芦川永光です。

机の場所も決まって、看板も設置して、「近所さんに「何のお店?」と聞かれることも無くなった、移転からひと月の新事務所。わずか1年でまた移転なんて、お金もかかるし冗談じゃねー! と思っていました。が、今ではココに来て良かったしみじみ感じています。6年間で最も仕事がいやしく、スリム化も進んだ職場になりました。

街の真ん中に来たことで交通の便が良くなって、なんとガソリンの給油回数が減りました。駅も徒歩圏内で、ほろ酔いでもお迎えナシで帰れます。ドコに行くのも車を使っていたことを思えば、夢のようです。時間コストが至る所で削減です。

そしてこれが一番大きいこと。とにかくたくさんの方が来てくれるんです。興味を持って頂いてありがたいです。今回のつるおんは、そんな新事務所にぜひ一度お越しください! という想いを込めて、誰もが気軽に立ち寄れるビジネスマン憩いの場、感動事務所をご紹介します。仕事以外でもお気軽にお立ち寄りください〜!

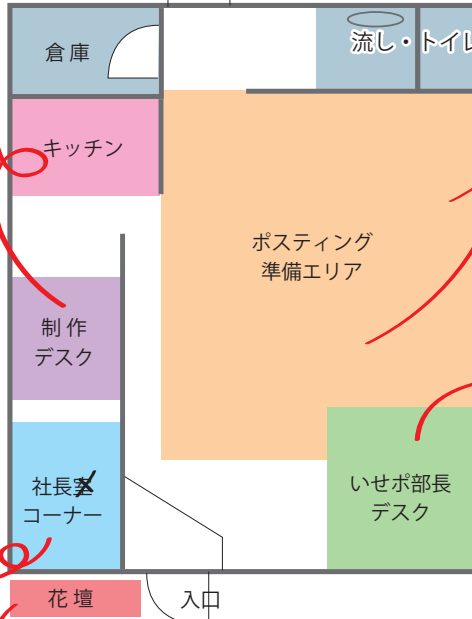
新事務所を紹介します!!



感動・創庫の儲かるデザインが生み出される工房です。デザイナーデスクは整理整頓が命ですね。パソコンの裏手には商談が出来るカウンターテーブルがあって、ランチタイムは仲良く並んでパスタをぐるぐる巻いて食べています。



チラシのカウンタから結束作業、仕分けの作業までを行います。チラシの在庫もこちらで管理しています。事務所が広がって一番恩恵を受けたのがココです。置き場所には困らないし、導線がしっかりできて、作業が超〜はかどっています。



「こりこり」こと坂井ポスティング事業部長のデスクです。ガラス越しに社内を覗きこむと、必ず彼女と目が合うように机が配置されています(笑)。受付役兼看板娘として、いせはらポストを最前線で運営しています。

「まだ早い」ということで、社長室にはなっていません！コーナーらしく、たくさんの本が置いてあります。マンガヲタクも唸るマニアックな漫画も隠してあります。ごろごろしながらのゆったり読書タイム、一緒に過ごしませんか(笑)



前事務所から大切に育ててきたバラなどの花たちが、目の前を歩く人や信号待ちをしている車の運転手さんを元気づけます。これからますます温かくなって、花がたくさん咲いたらキレイですよ〜。ちょっと腰かけて休めるベンチも、これから設置しようかと計画中です。



遊びに来てくださいね!!

象に残ったこと
そして、一番印象に残ったこと



写真は、「千と千尋の神隠し」のモデルになったと言われている九份という町です。

GWの一週間前に、台湾に行ってきた。世界一の親日国といわれる歴史文化に触れてみたいとずっと思っていたので、念願が叶いました。本場の台湾料理はウワサ以上に美味しくて、味付けが優しかったです。看板がニョキニョキせり出している街並みや、寺院などの歴史的建造物はノスタルジーを感じました。古いモノの良さに思わずうっとりしちゃいました。仕事のアンテナもびんびん刺激されました。古いビル群が少しずつ建て替えられている台北市の中心街は、これからますます発展しそうです。ここで仕事出来たら面白いだろうなって感じました。

編集後記

は、現地の人々がとにかく優しいこと。まったく言葉なんて関係なく、困っていると手を差し伸べてくるんです。電車を乗り違えた時は本当にすこかったです。ブログにも書きましたので、ぜひ。

あなたがビジネスで台湾に進出の際には、通訳を出来る友人をご紹介出来ますので、私、芦川も連れて行ってください。ポスティングもすべてお任せあれ！なんつって(笑)